

令和7年度 学 校 自 己 評 価 表 （計画段階・実施段階） 私立 東海大学付属福岡高等学校

	学 校 運 営 計 画 （4月）						
学 園 運 営 方 針	若き日に汝の思想を培え 若き日に汝の体軀を養え 若き日に汝の智能を磨け 若き日に汝の希望を星につなげ四つの言葉を基本理念として、人権尊重の精神に立脚し、人間・自然・歴史・世界・文明などに対する幅広い視野や、人生の基礎となる思想を養い、人生の意義について自ら学び考える力を育成する。21世紀を担う豊かな人間性を備えた創造性豊かな人材の育成をめざす。						
学 校 運 営 方 針	私学の存在意義は、建学の精神に沿った教育と、時代の要請に応え柔軟に対応する特色ある教育にある。本校の教育は学園の基本方針に沿って、本来あるべき高校生活を十二分に展開する中で学習と教科外活動（部活動等）の両立に立脚した「人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成」をめざす。また情報化・国際化の進展に対応し、それぞれの教科においてその目的に沿った教育を展開する。併せて、地域社会との教育的連携・貢献をはかり、地域の要請に応える。						
2025年度学校重点目標							
昨年度の成果と課題	実 践 最 重 点 目 標		具 体 的 目 標			評価(3月)	成果と課題
	2025年度校務分掌・学年重点目標						
昨年度の成果と課題	分掌・学年	分掌・学年重点努力目標			具体的方策	平均	
成果 本校の状況に応じた観点別評価を行うことができた。また、単元テスト導入し学習定着が見られるようになってきた。	教務部	[1]基礎学力を高めつつ個性を伸ばす授業態勢の構築。	①コンピテンシー（七つの学力）を基本とした授業目標と実践の確立。 ②定期テストが2回になることでその重要性が増す。（評価方法の検証） ③単元テストの定着化・・・分析を繰り返し行い発展させる。 ④学園基礎学力定着度試験の結果分析と検証			[1]	
課題 早期に課題を見極めていく姿勢を持つことが課題である。またSymphonyの円滑な運用が成績処理段階にてできていなかったため、スムーズなデータ提供ができるようにしなくてはならない。		[2]コースに対応した授業環境の推進	①教科と連携した公開授業・研究授業の推進。 ②AL推進委員会とを中心とした教科毎の授業改革推進 ③東海大学をはじめ、進路に応じた学力保障 ④学習支援アプリ「ロイロノート」「Classi」の積極的活用。			[2]	
		[3]情報管理室、学年と連携した円滑な成績処理の推進	①校務システム（Symphony）の円滑な運用とデータ提供 ②新課程に伴う評価システムの見直しと成績処理システムの改良 ③非常勤講師との連携			[3]	
		[4]家庭と連携した生徒の授業に臨む姿勢づくり。	①保護者への確実な情報提供(成績・通知表への学年末5段階表示・行事等) ②三者面談の効果的な実施と成績不振者への年間を通した指導の推進 ③成績不振者の指導のシステム化 ④生徒はもちろんのこと保護者に寄り添う指導を行い、転退学生徒を3年間で10名以内にする			[4]	
		[5]その他	①魅力あるTOKAIセミナーの実践・改革。 ②本校入学試験において、2重3重のチェック機能を確立し、ミスの無い「入試」を目指す。			[5]	
成果 指導体制の確立と学年との連携、管理職との情報共有が体系化できたところは今後の指導の明確化につながった。また、生徒一人一人に合った指導にもつながった。	生徒指導部	[1]基本的生活習慣の確立	①基本的な生活習慣の定着を図る。教職員全体の共通認識の下、生徒自らが自主的、主体的に行動し自己を高める能力の向上を目指す。 ②すべての教職員が、日頃から子どもたちの状態をきめ細かく観察すると共に、生徒が自己肯定感を育み、人間関係づくりを支援			[1]	
課題 規律や規範面の指導や、未然防止の観点からの指導が十分にできていなかったことは大きな反省点としてあげられる。次年度以降、未然防止に視点をあてた方策に力を入れたい。		[2]指導体制の確立	①生徒の特性を十分に考慮した教育的視点からの指導を充実させる。（2） ②生徒会活動は目的や目標を明確にして年間計画を立てる。学校行事への協力や校内外の活動により主体的で積極的な活動の推進 ③ICT化に伴う諸問題に対応できる制度作り。その為に教職員が概念的な理解にとどまらず、特性を体験的な部分と共に理解度を高める。（2） ④生徒指導上の月間重点項目を決め、「月間目標」として教室掲示することで、生徒が自らを律する精神を育てることを目指す。			[2]	
		[3]部活動の推進	①クラブ活動の活性化と学習の両立「高いレベルの文武両道」を目指す。教員は常に生徒の学習実態を把握する。（3）			[3]	
		[4]安全教育の推進	②学習環境整備等、教室の美化を重点に校内外の美化に努め、ゴミや汚れのない教室を目指す。（4） ③教員による授業巡回指導を継続し、貴重品の管理および移動教室時の戸締りの徹底による盗難防止に努める。（4） ④生活安全、交通安全、災害安全の領域で自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成することを目指す			[4]	
		[5]問題行動の防止と再発防止	①いじめや問題行動等については各教員が「未然防止・早期発見・早期対応」の意識を高く持つ。（5）			[5]	
成果 進路説明会や面接指導を積極的に実施することができた。特に、東海大学熊本キャンパスとの連携をこれまで以上に強化することができた。 就職希望者に求人票を楽に閲覧できるシステムを導入できた。	進路指導部	[1]一貫教育の推進～付属推薦入学者25%、他大学を含む進路決定率100%をめざした進路指導の徹底。 [2]効果的な進学指導 [3]就職希望者にむけた指導強化 [4]各種情報収集・整理および閲覧コーナーの充実 [5]その他	①付属推薦を大前提とした各学年との一層の連携 (ア)1学年・・・進学説明会や学年の指導を通じ進路意識を芽生えさせる。東海大学をPRする。 (イ)2学年・・・学部説明会等で東海大学のPRおよび説明会等による推薦志望への導き。 (ウ)3学年・・・説明会・面談等による付属推薦希望者の確保。（大学進学率65%、決定率100%） ②特別奨励入学制度の積極的PRによる優秀な付属推薦入学者の確保。 ③体験留学(農学部・海洋学部)PRによる参加者の増加に向けた取り組み。 ①他大学・短大進学希望者に対する指導体制の確立や説明会参加の促進。 ②学園基礎学力定着度試験や校外模試を活用した進学指導。 ③小論文指導・面接指導の取り組み。「現代文明論」や3学年団との連携による指導体制の確立。 ④進路意識を高めるガイダンス等の実施。 ⑤3年にわたる指導計画の確立と授業担当者による連絡会の開催。 ⑥東海大学熊本キャンパスおよび阿蘇くまもと臨空キャンパスとの連携強化。 ①就職希望者への徹底した進路指導。 ②ガイダンスや面接指導を充実して、内定率100%をめざす。入社後の取組等も含めた指導。 ①専門学校進学希望者への進路指導。 ②東海大学関係をはじめとする国公立・有名私大・地元有名大学の資料提供。 ③大学案内やパンフレットなど情報提供による1年生から効果的な進路指導の充実。 ①各模試のデータ活用。 ②難関・アスリート・進学Ⅰ類・Ⅱ類コース対象の補習実施			[1]	
課題 先生方の業務多忙の中、入試の多様化に対応するために、教員対象の説明会に参加してもらえるようにしたい。				[2]			
				[3]			
				[4]			
				[5]			

成果 あらゆる学校行事(イベント)終了後、速やかに事後アンケートを行うことで即座に数値分析が出来るようになった。 課題 視聴可能な研修コンテンツを増やす。また教職員のニーズに応じた研修動画を提供することで意識高揚を実践していきたい。	研究部	[1]高校現代文明論授業(創造性教育・知的財産学習を含む)の充実 [2]人権教育・同和教育・道德教育の推進 [3]探究学習プログラムの確立 [4]教職員の必要に応じた研修の計画と実施。 [5] 授業評価アンケート及びteacher’sアンケートによる授業改善。 [6]その他	①新編高校現代文明論（テキスト）を軸に『建学の精神』を主体とした内容の構築（1） ②現代文明論研究授業の実施(1年＝11月、2年＝9月に実施)（1） ③生徒研修の充実(「宿泊研修」「修学旅行」「校外研修」など)（1） ①人権教育・道德教育の推進による人権意識の高揚および「心の培養」とそれに基づく行動を実践（2） ①「自ら学び考える力」を育てる探究学習の確立。（3） ①教職員研修の充実(進路指導研修・A L推進研修・人権研修他)（4） ①7月、12月に実施する授業評価アンケートに基づいたベストティーチャーの選出と表彰（5） ① 地元宗像市、社会福祉協議会や宗像市子ども育成課などとの連携教育。（6） ②学園オリンピック等の学園行事への参加促進（6）	[1]		
成果 2学年に進級することができた中で、校則の遵守や挨拶の励行、礼儀指導といった基本的生活習慣と行動を身につけることができた。 課題 進路に向けての学習状況の更なる向上が必須となる。また、進路意識に個人差も大きいため、2年次には学年を通して指導に心掛けたい。	1学年	[1]高校生活への順応と基本的生活習慣の確立(礼儀、挨拶、言葉遣い) [2]基本的生活態度の育成(社会で通用するマナー、価値観を身につけさせる) [3]学習習慣・学習意欲の向上と環境づくり [4]進路指導 [5]保護者とのコミュニケーションを大切にし、保護者から信頼される学年運営	①校則の遵守（頭髪・服装・ルールの遵守など、全教員が同じ目線で指導を徹底する）① ②挨拶の励行（学校にかかわる全ての方々に対して心のこもった挨拶）① ③集会時（集合時間の厳守、聞く態度の指導、歌唱指導）① ①出席の督励（正当な理由のない欠席・遅刻・早退をなくす、問題のある場合はただちに家庭連絡や保護者との面談を実施）② ②部活動や同好会への積極的な参加を促す。② ①HR、授業時（挨拶の徹底、服装を正す、机を並べる、ゴミを拾う、聞く態度の指導）③ ②学習に対する心構えや学習方法の指導③ ③授業を大切にし、学習環境の定着及び学力の向上を図る〔Xの約束〕③ ④学習環境の整備(整理整頓を含め教室の美化を意識した生活の督励)③ ⑤補習・模擬試験等への積極的な参加（教科・進路指導部と連携して、HR・授業において積極的な参加を呼びかける）③ ⑥コース、類に応じた学習指導(習熟度別、実力試験、家庭学習、補習等)③ ①ポートフォリオの活用により進路に対する意識を上げる。④ ②進路指導部と協力して進路情報を提供する。1学年終了までに方向性を出せるような指導をおこなう（付属推薦を増やす取り組み） ①保護者と連携し協力を得ながら徹底した基礎の習得に努める。⑤ ②Classiを活用した面談の実施、進路意識の発揚⑤	[1]		
				[2]		
				[3]		
				[4]		
				[5]		
				[6]		
成果 高大連携事業により開かれた東海大学九州キャンパスへのオープンキャンパスに100名近い参加を募るなど、大学進学への意識や東海大学への興味関心を高めることができた。 修学旅行での満足度を高めることもできた。教員と生徒のコミュニケーションが良くとれている。 課題 多くの特別指導者、転学者を出した。その個人をとりまく家庭環境による影響が大きいと感じているが、粘り強く3年間指導し、全員が卒業できるように配慮、先回りしていきたい。	2学年	[1]基本的生活習慣の確立 [2]態度教育(社会で通用する価値観を身に付けさせる) [3]学習意欲の向上と環境づくり [4]進路指導 [5]保護者への情報提供	①校則の正しい理解とその遵守(頭髪・服装など、全教員が同じ目線で指導)① ②時間の厳守と出席の督励① ③出席の督励(正当な理由のない欠席・遅刻・早退をなくす、問題のある場合は早めに対処。(連絡・確認・家庭訪問など必要な対応) ①清掃の徹底（社会に出て求められる責任感の涵養。学習に専念できる環境作り）② ②学びの姿勢（態度）を身につけさせる（謙虚さ・前向きな態度の大切さを理解させる）② ③挨拶、ことば遣いの指導（心のこもった挨拶とTP0を考えてことば遣いの指導）② ④HR、授業時での指導（服装、教室の整備美化、聞く態度の指導を徹底する）② ⑤集会時（集合時間の厳守、聞く態度の指導、体育館シューズの徹底、歌唱指導）② ⑥行事やイベント等を中心にリアルな教育活動を通して様々なことにチャレンジさせる② ①学習状況・理解度の正副担任把握(教科担当者との情報交換、生徒への声かけ、七つの学力の獲得)③ ②学習環境の整備(教室内の整理整頓、掲示物による学習意欲の向上の工夫)③ ③模擬試験・英検などへの積極的な参加(教科・進路指導部との連携、HRでの働きかけ)③ ①スーパー特進生徒に対する進路希望を反映した積極的な学習指導(難関大学・難関学部学科への合格を目指す)④ ②ポートフォリオの入力を通じて、1年間の成長を明確にする。④ ③進路指導部・教務部と協力して進路情報の提供 担任・運営委員の協力による面談の実施④ ④12月の進路希望決定をめざす指導(付属推薦制度を利用した取り組み)④ ①生活面・学習面についてのきめ細かい指導と家庭への連絡⑤ ②家庭学習習慣の確立⑤	[1]		
				[2]		
				[3]		
				[4]		
				[5]		
				[6]		
成果 付属推薦進学者の目標にはやや届かなかったものの2年次より継続的に情報提供を行ってきた成果が現れた形である。 進学コースの生徒に対しても積極的に模試受験の督励や計画的な課題配信を行ってきた。この点が学力向上に繋がっていることは成果である。 また最上級生として様々なイベント等で団結し先頭にたってくれた。 課題 年内入試での進路決定者が多数のため学校生活へのモチベーションの維持させるための方策は今後も課題として残る	3学年	[1]進路目標の実現とそれに向けた具体的取り組み [2]各校務分掌と連携した生徒指導 [3]学習指導 1意欲の向上と環境づくり 2大学進学を目指す学習指導	①一貫教育計画の3年目を意識し、進路指導部と連携しながらの付属推薦進学者80名（25％）を第一とした進学指導の実践。① ②面接週間を設定し、面接試験への対応と進路に対する意識の高揚をはかる。① ③進路目標に対応した資料の提供を進める(東海大学関係・他大学・短大等)。① ④模擬試験受験の督励と事前・事後指導・受験校にあわせた指導の取り組み。① ⑤小論文対策(模擬試験受験の督励と事前・事後指導・受験校にあわせた指導の取り組み)。① ①生徒指導と連携した生活指導。② 1校則の遵守(頭髪・服装等、社会で求められるTPOに応じたルールの涵養) 2挨拶の励行（社会で求められるマナーの涵養） 3清掃の徹底（社会で求められる責任感の涵養） 4出席の督励(正当な理由のない欠席・遅刻・早退の撲滅。進路を意識した指導) 5集会時のマナー徹底（集合時間の厳守、服装、聞く態度、歌唱の指導） ②健康推進室と連携した生徒の健康管理② ③LHR・個人面接・三者面談を通して目標の設定とその実現のための対策をとる。② ①意欲の向上と環境づくり 1学習環境の整備(教室内の整理整頓、掲示物による学習意欲の向上の工夫) 2模擬試験・英検等への積極的な参加（教科・進路指導部と連携して、HR・授業において積極的な参加を呼びかける。） ②大学進学後を意識した基礎学力の指導と、一般入試・推薦入試での進路決定を実現させるための学習指導。 ※授業以外での継続的・計画的な個人指導の工夫。 ③放課後補習や課題配信を通して学習時間の定着をはかる。	[1]		
				[2]		
				[3]		